



初 釜



『初釜』を行いました。『初釜』とは新年に初めて炉に釜をかけ、茶事を行うことです。初めて大きな茶釜を見た子ども達。「おゆができてる!」「ゆげがでてるよ!」と茶道具に興味をもち「なんかおとがしてるね」と茶釜のお湯が沸く音に耳をすませていました子ども達でした。

その中、凛とした気持ちで、今年初めてのお抹茶をいただきました。

初めて食べる『花びら餅』を森田先生から「花びら餅は、初釜でいただく伝統的なものですよ」と話していただき、子ども達も興味津々で「おいしい〜」「ごぼうがはいってる!」と話をしていました。

『花びら餅』をいただいた後に自分で点てたお抹茶をいただきました。4月当初は「おまっちゃんがい」と飲めない子どもも多かったのですが、今では甘いお菓子の後のお抹茶を「おいしい〜」と喜んでいただく子ども達です。

茶道教室での経験を通して、物の大切さやおもてなしの心、綺麗なものを見て綺麗と感じる心が少しずつ育ってきた子ども達。その気持ちを大切に小学校でも楽しく過ごしてほしいです。

今月のお花

椿



バラ



『花びら餅』

昔は宮中で出されていた、お正月にいただく伝統的なお菓子の一つで、柔らかいお餅に餡とごぼうと一緒に包んであるお菓子。



どんな味かな・・・



茶道具の名前を
教えてもらいました



お茶頂戴いたします。



こころをしずめてお茶を点てて
いただきました。